

はじめに	02
動物も植物も、そして人間も みんな生き物	04
生き残りをかけた世界	06
生き物はつながっている	08
地球46億歳、生き物38億歳	10
生命(いのち)の「つながり」と「にぎわい」	12
生き物に支えられる私たち	14
生き物たちが危ない	16
みんなができること	18

### 先生、保護者の皆様へ

現在、地球規模で様々な環境問題が発生しています。環境問題を解決するためには、環境教育が極めて重要となりますが、児童期における環境教育において大切なことは、まず身近な地域の自然に愛着をもつことだと考えています。

このパンフレットは、子どもたちが、学校の校庭や通学路など身近な自然の中にみられる生き物の暮らしや不思議な世界を知るとともに、「生物多様性」について理解することをねらいとしています。生物多様性は、人類を含め全ての生き物の生存基盤であり、水や空気と同様、無くてはならないものです。近年急激に生物多様性の損失が進んでおり、国際社会においては地球温暖化と並ぶ重要な環境課題に位置づけられています。わが国においては認知度が低く、その重要性が十分に理解されているとはいえません。

生物多様性という言葉は大人にとってもわかりづらいものですが、実際に自然や生き物とふれあうことで感覚的に理解していくことが有効なアプローチとされています。今、目の前にいる生き物が、食物連鎖をはじめとした生き物のつながりや、40億年に遡る進化の歴史の賜物であることを知ることで、生物多様性の大切さを感じ、保全のための行動につながっていくことを期待するところです。

先生や保護者の皆様には、子どもたちの体験の機会を積極的につくっていただき、いろいろな場面でこのパンフレットを活用してもらえれば幸いです。また、福岡県では、ホームページを通じて、生物多様性や自然環境の保全に関する情報を提供しております。このパンフレットとあわせて是非活用ください。

## はじめに

いつもは、気にもとめないけど、もしそれがなくなったら困るものってあるよね。

例えば、きれいな空気や水がなくなったらどうしよう？

私たちは生きていけなくなる。

それと同じように、生き物が、もしなくなってしまったらどうだろう・・・

春の野原を舞うチョウがいない、小鳥のさえずりも聞こえなくなる、  
セミの鳴き声が聞こえなくなる、カブトムシもクワガタムシもいなくなる、

川で魚とりもできなくなる・・・なんだかとってもさびしいね。

今、生き物たちにとっても大変なことが起きている。

「生き物なんて興味ないし関係ないもん。」そう思った君、ちょっと待ってくれ。

生き物は私たち人間すべてと関係があるんだ。

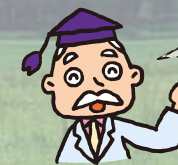
人と生き物の大切な関係、この本はそれをみんなに知ってもらいたくて書かれている。

いつも目にするスズメやカエル、ダンゴムシが君たちとも関係し、

つながっているなんて信じられるかい？

そのタネ明かしはこの本のなかにある。

さあ、ページをめくって生き物たちと君たちの不思議な関係を探しにいこう。



わしは生き物博士。  
君たちを生き物の  
世界に案内するぞ。

ぼくはカエルのケロ助。  
博士の研究を手伝って  
いるんだ。ぼくも一緒に  
いくよ。

